

奥多摩町 防災 ハザードマップ

Okutama Town Hazard Map



奥多摩町イメージキャラクター ゆさびー

目次

ハザードマップの活用方法

- ハザードマップの使い方・・・P1
- ハザードマップの見方・・・P2

災害の知識

- 奥多摩町内の過去の災害・想定される災害・・・P3
- 地震が発生した！10のポイント・・・P5
- 地震に備えよう！10のポイント・・・P6
- 土砂災害に備える①・・・P7
- 土砂災害に備える②・・・P8
- 洪水災害に備える①・・・P9
- 洪水災害に備える②・・・P10

奥多摩町全域図

- 奥多摩町ハザードマップ 全域図・・・P11

エリア別図

- 奥多摩町ハザードマップ①～⑭・・・P13～P40

災害への備え

- 避難時の流れ 震災の場合・風水害の場合・・・P41
- 災害情報の収集・・・P43
- 避難所一覧・・・P44
- 防災備蓄(日頃からの備え)・自助・共助・公助・・・P45
- 非常持ち出し品、ローリングストック等・・・P46

ハザードマップの使い方

この冊子は、奥多摩町で想定される土砂災害、洪水、地震災害などの危険度を知ることやいざというときに安全な避難行動が取れるよう、日頃からの備えを含め、項目ごとに取りまとめています。奥多摩町は広く集落が点在しており、災害等が発生した際に行政側が駆けつけるまでに時間が掛かることが考えられます。このため、一人ひとりができる「自助」、地域が協力して行う「共助」、そして、自治体が行う「公助」について、日常的に考えていただくことが大切です。お住まいの地域の状況を正しく理解し、冷静な行動につながるよう、この冊子をご活用ください。

ハザードマップを使って避難経路を確認する。

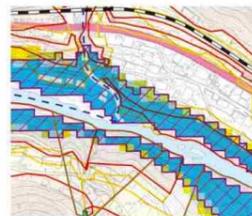
自宅の位置を確認しましょう。

自分が住んでいる位置を確認し、自宅の位置に印を付けましょう。



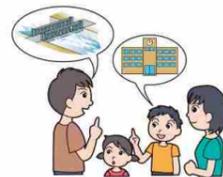
自宅の周辺の危険性を確認しましょう。

自宅周辺の災害リスク(土砂災害警戒区域・浸水想定区域)を確認しましょう。



災害発生時の避難経路や避難先を調べましょう。

最寄りの避難所をハザードマップで確認し、安全な避難経路を考えましょう。



実際に避難先まで歩いてみましょう。

ハザードマップを持って避難経路を歩き、安全を確認しましょう。また、避難にかかる時間についても確認しましょう。



防災や避難について話し合みましょう。

防災や避難行動について家族やご近所でも話し合い情報を共有し、災害に備えましょう。



土砂災害警戒区域・浸水想定区域について詳細を確認したい場合、次のURLもしくは2次元コードからご確認ください。

東京都 土砂災害警戒区域等マップ

<https://www2.sabomap.jp/tokyo/>

東京都 浸水リスク検索サービス

https://www.kensetsu2.metro.tokyo.lg.jp/jigy/river/chusho_seibi/risk/kensaku.html



東京都 土砂災害警戒区域等マップ



東京都 浸水リスク検索サービス

ハザードマップの見方

土砂災害のリスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)

地中にしみ込んだ水分で斜面がゆるみ、急激に崩れ落ちる区域

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒区域(土石流)

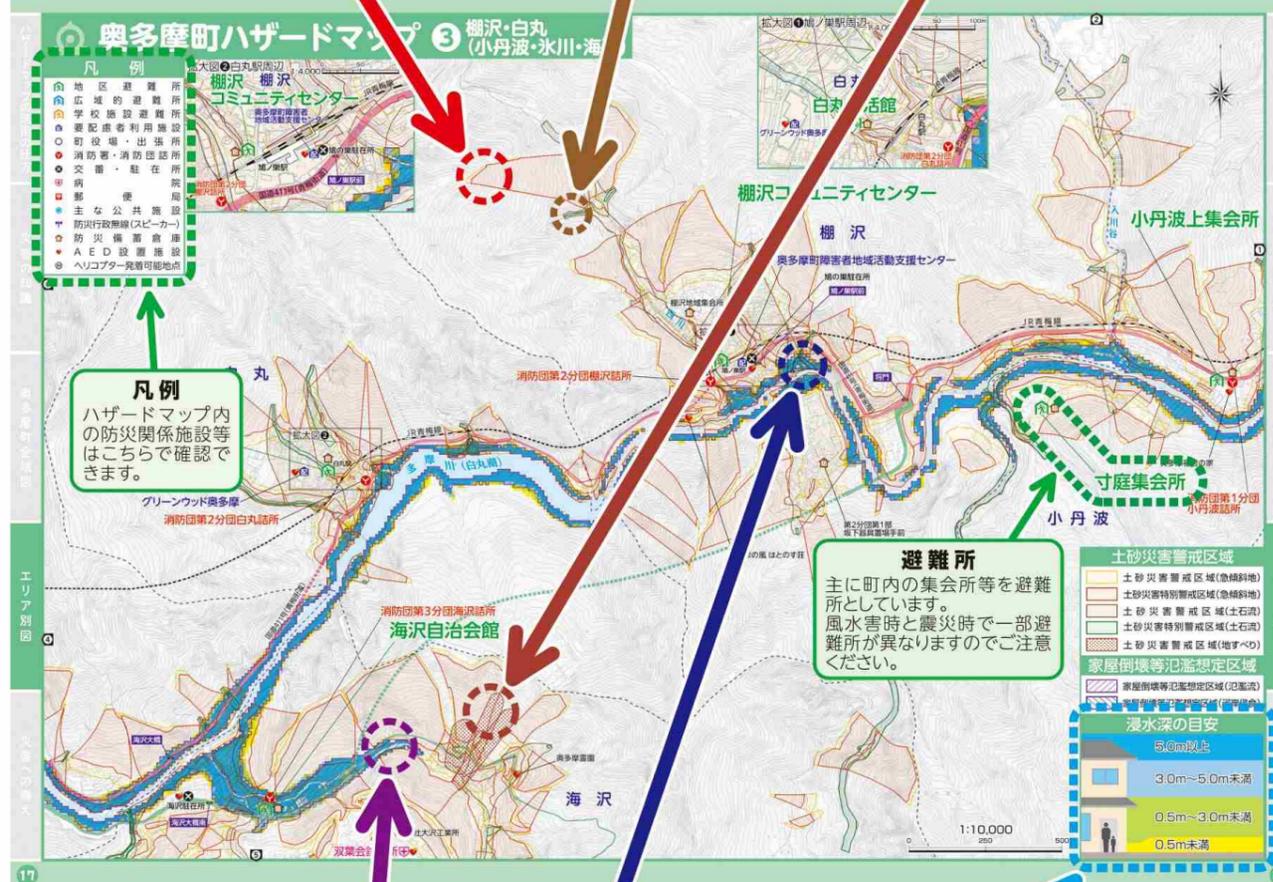
山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる区域

土砂災害特別警戒区域(土石流)

建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害警戒区域(地すべり)

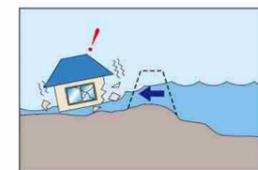
やや傾斜のゆるい斜面が地下水と重力によって、広い範囲にわたってかたまりのまま動く区域



水害のリスク

氾濫流

堤防沿いの地域等で洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生するおそれがある区域



河岸侵食

氾濫による河岸の浸食幅を予想し、家屋の倒壊や流出などの危険がある区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

浸水想定区域の浸水深の目安

河川の氾濫等により浸水が想定される浸水ランク(深さ)を示しています。風水害時に避難等の行動を考える目安になります。

浸水深の目安



奥多摩町内の過去の災害・想定される災害

奥多摩町は、面積の約94%を森林が占めており、台風や大雨・地震・大雪等の発生によって、多くの自然災害が想定されます。

大雪

●2014年(平成26年)2月
〈雪害 国道トンネル外からの除雪作業〉

2月14日に降り始めた記録的な大雪のため国道411号線を含めた町内の主要道路がマヒ状態となり、日原、大沢、中山、原、川野、留浦、峰谷自治会が孤立した。2月16日、東京都に対して自衛隊の災害派遣を要請し、陸上自衛隊、警視庁、ボランティア、消防庁、西多摩建設事務所、建設業協会などの協力により2月23日午後1時に全世帯の孤立が解消した。負傷者や多数の建物被害等が発生するなど初めて体験する雪害対応であった。



大雪

●2014年(平成26年)2月
〈雪害 役場前の除雪状況〉



標高凡例



想定される災害

土砂災害

地震・台風・大雨等により土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊等が発生するリスク

川の氾濫

大雨・台風等により建物・道路が水没、建物等が流出・倒壊するリスク。

地震

地震により建物の倒壊、火災、土砂崩れ、液状化等が発生するリスク。

大雪

大雪によって雪崩による事故、除雪中の転倒・転落事故等が発生するリスク。

土砂災害

●2019年(令和元年)10月
〈台風19号 日原街道(都道)崩落〉

10月12日に襲来した台風19号は関東地方はじめ東日本に甚大な被害をもたらした。町内においても土砂の流出や停電、断水など多くの被害が発生し、特に日原地区では日原街道の崩落により孤立した。また、氷川地区から古里地区にかけての広範囲で長期間断水が発生した。10月16日、東京都に対して自衛隊の災害派遣を要請し、日原地区への物資輸送や断水地区での入浴支援等を行った。



川の氾濫

●2019年(令和元年)10月
〈台風19号 多摩川水位上昇〉



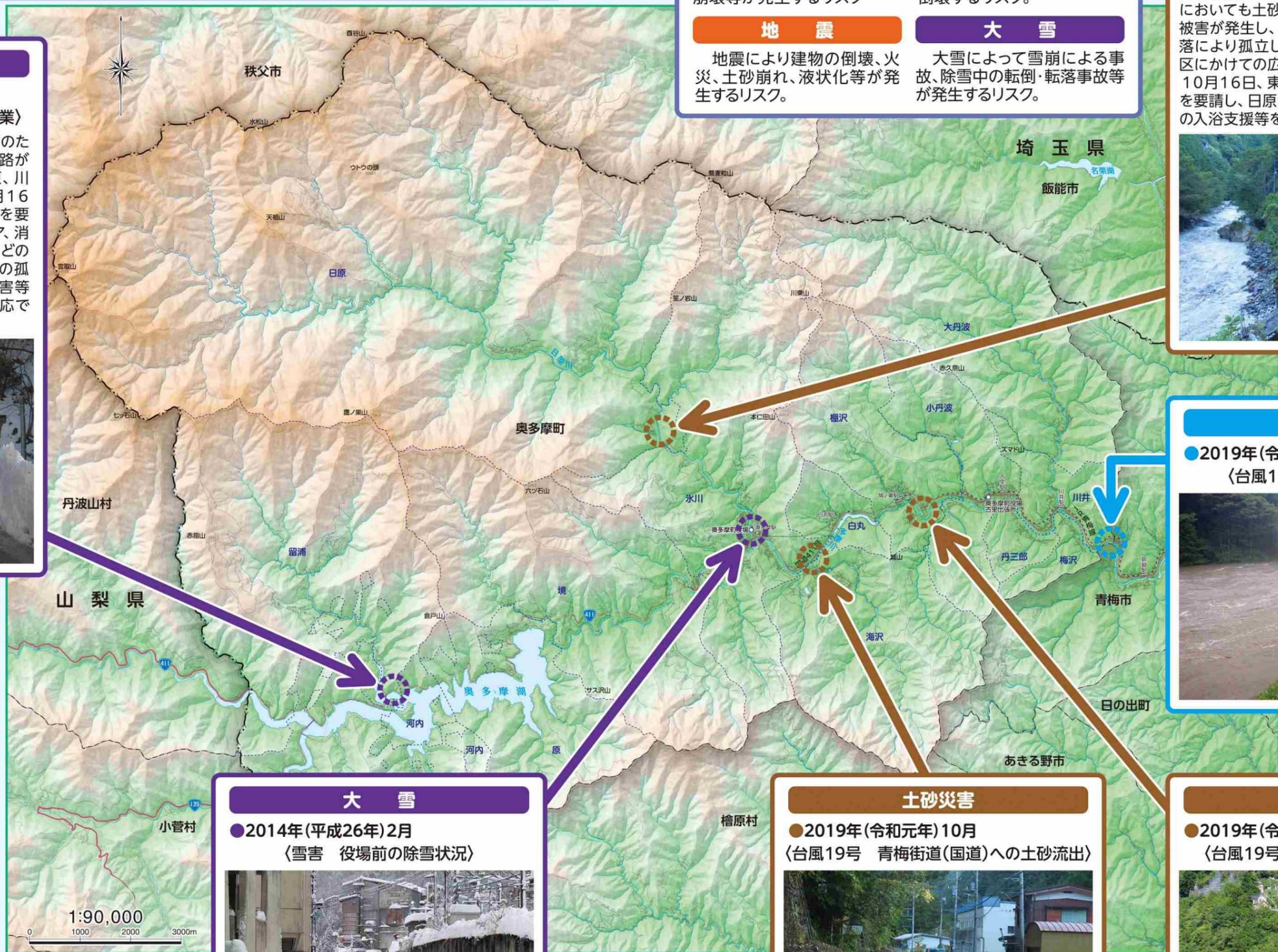
土砂災害

●2019年(令和元年)10月
〈台風19号 青梅街道(国道)への土砂流出〉



土砂災害

●2019年(令和元年)10月
〈台風19号 多摩川沿いの土砂崩落〉



ハザードマップの活用方法
災害の知識
全体図
エリア別図
災害への備え

ハザードマップの活用方法
災害の知識
奥多摩町全域図
エリア別図
災害への備え

地震が発生した! 10のポイント

地震時の行動

地震だ! まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね10階以上)での注意点】

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



落ち着いて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀など高さのあるものには近寄らない

屋外で揺れを感じたら、門や塀など高さのあるものには近寄らない。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



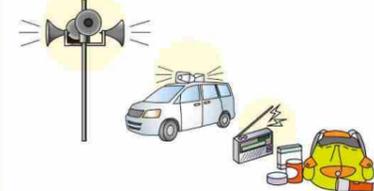
協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、身の安全を確保した上で救出・救護する。



正しい行動 確かな行動

町、消防署、ラジオやテレビなどから正しい情報を得る。



避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、地区避難所や広域的避難所に避難する。



地震直後の行動

地震後の行動

災害への備え

地震に備えよう! 10のポイント

身の安全の備え

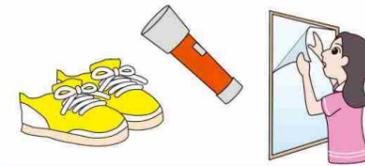
家具類の転倒・落下・移動防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに見える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



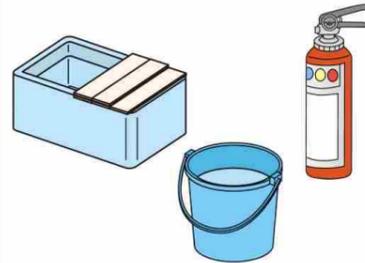
家屋や塀の強度を確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- 家周辺のフェンスや塀などは、倒れないように補強しておく。



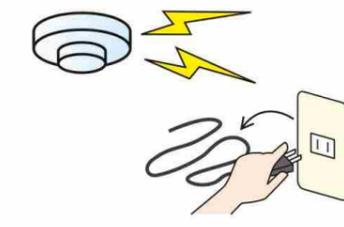
消火の備えをしておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き(溺れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする)をしておく。



火災発生時の早期発見と防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。



非常用品を備えておこう (45、46ページ参照)

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節に応じた用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー(PSEマーク付)など、必要な電源を確保しておく。



初動対応の備え

家族で話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にすることで、隣り近所との協力体制を話し合っておこう。



地域の危険性を把握しておこう

- 町の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



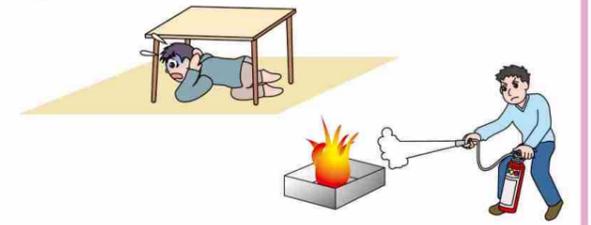
防災知識を身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 町・消防署などが実施する講演会や座談会などに参加し、過去の災害の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を高めておこう

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防御、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



確かな行動の備え

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

土砂災害に備える①

土砂災害とは?

●土砂災害とは、台風や集中豪雨等による長雨・大雨・豪雨又は地震を原因として発生する「急傾斜地の崩壊(がけくずれ)」、「土石流」、「地すべり」などによる土砂の移動現象のことをいいます。

土砂災害の種類と特徴

急傾斜地の崩壊(がけくずれ)



斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象です。崩れ始めてから、崩れ落ちるまでの時間がごく短く、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、人命を奪うことの多い災害です。

土石流



山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。移動する土塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

土砂災害の前兆現象 こんな前ぶれに注意

●前兆現象を見つけら、直ちに避難所または頑丈な建物等安全な場所へ避難してください。

急傾斜地の崩壊(がけくずれ)



・湧き水の急激な増加・減少・枯渇
・がけから水が吹き出す
・斜面がふくらみだす

土石流

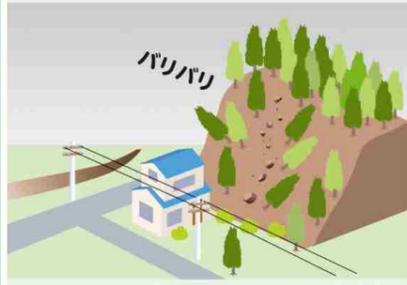


・異様な山鳴り、地鳴りがする
・河川が急激に濁りだす
・降雨時に水位が急激に減少

地すべり



・斜面に亀裂ができる
・斜面から水が吹き出す
・樹木の根が切れる音がする



・小石がバラバラ落ちる
・木の騒ぐ音、裂ける音がする
・木が傾いたり倒れる



・流木などが混ざり始める
・転石のぶつかり合う音がする
・異様なにおいがする



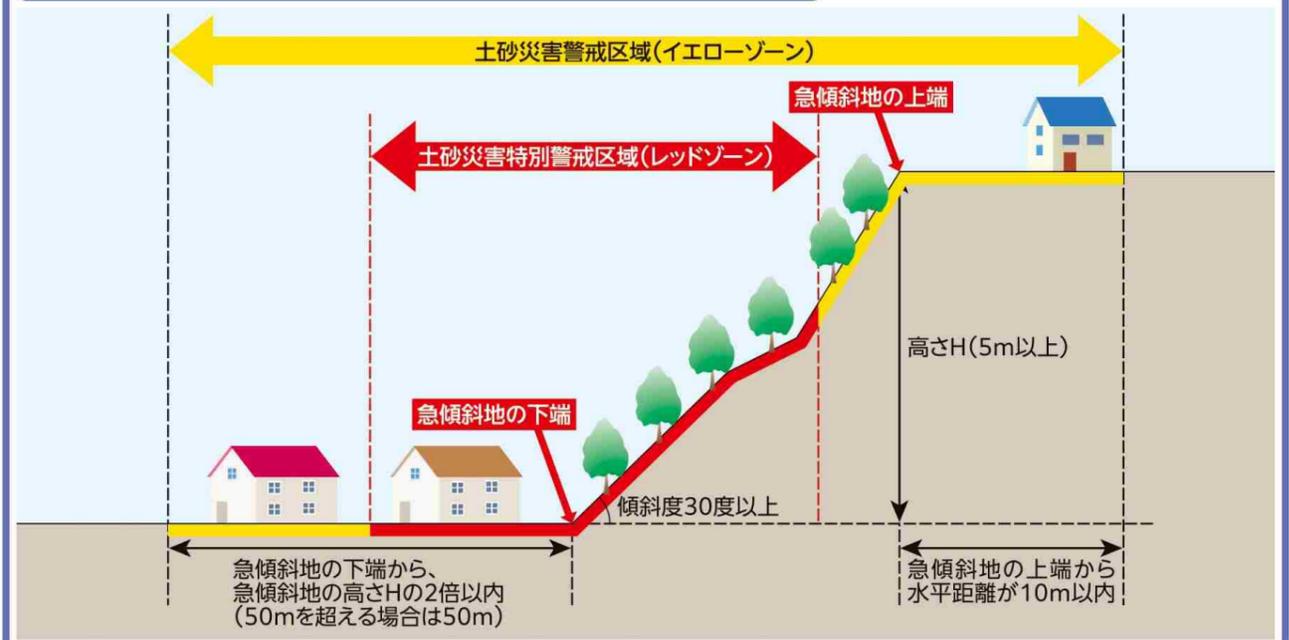
・斜面がひび割れる
・道路などにひび割れ、電柱が傾く
・段差が発生・拡大する

土砂災害に備える②

土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

●土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域の指定等の土砂災害防止対策に必要な基礎調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域等を指定します。

土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域のイメージ



土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域として政令で定める基準に該当する区域のことを言います。

- 急傾斜地の崩壊(がけくずれ)
 1. 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
 2. 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域
 3. 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域
- 土石流

土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域
- 地すべり
 1. 地滑り区域(地滑りしている区域または地滑りするおそれのある区域)
 2. 地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離(250mを超える場合は、250m)の範囲内の区域

土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域は、土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域として政令で定める基準に該当する区域のことを言います。

奥多摩町の区域箇所数

土砂災害警戒区域：946

土砂災害特別警戒区域：909

洪水災害に備える①

近年は1時間の降水量が50mmを超える大雨により河川が急激に増水・氾濫して、洪水災害が発生するケースが増えています。洪水災害から命を守るには、周囲が危険な状態になる前に早めの避難をすることが大切です。

外水氾濫(洪水)と内水氾濫

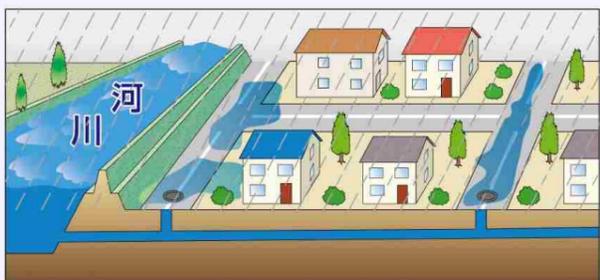
洪水(外水氾濫)

河川の水が堤防を超えたり、堤防が決壊するなどして河川の水が溢れること



内水氾濫

下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時等に、雨水が排水できなくなり浸水すること



雨の強さと降り方



| やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1時間に10~20mm未満の雨 | 1時間に20~30mm未満の雨 | 1時間に30~50mm未満の雨 | 1時間に50~80mm未満の雨 | 1時間に80mm以上の雨 |
| ザーザーと降り、話し声がよく聞こえない。地面に水たまりができる。 | どしゃ降り。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模なけがれが始まる。 | バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。けがれ崩れが起きやすくなる。 | 滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。マンホールから水が噴出する。 | 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。車の運転は非常に危険です。 |

台風のおおきさと強さ

| 大きさ | 風速 15m/s以上の半径 | 強さ | 最大風速 |
|-------------|-----------------|-------|--------------------------------|
| 大型(大きい) | 500km以上~800km未満 | 強い | 33m/s(64ノット)以上~44m/s(85ノット)未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 | 非常に強い | 44m/s(85ノット)以上~54m/s(105ノット)未満 |
| | | 猛烈な | 54m/s(105ノット)以上 |

風の強さと吹き方

| やや強い風 | 強い風 | 非常に強い風 | 猛烈な風 |
|-----------------------|-------------------------------------|---|--------------------|
| 10m/s以上 15m/s未満 | 15m/s以上 20m/s未満 | 20m/s以上 25m/s未満 | 25m/s以上 30m/s未満 |
| 風に向かって歩みにくくなる。傘がさせない。 | 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。 | 何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 | 屋外での行動は極めて危険。 |

洪水災害に備える②

水害の知識

集中豪雨

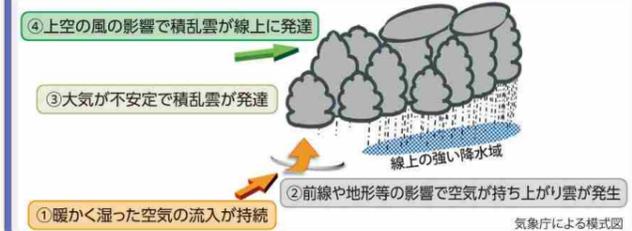
前線や低気圧などの影響や雨を降らせやすい地形の効果によって、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより、激しい雨が数時間にわたって降り続き、狭い地域に数百ミリの総雨量をもたらします。

局地的大雨(ゲリラ豪雨)

単独の積乱雲が発達することによって起き、大雨や洪水の注意報・警報が発表される気象状態でも、急な強い雨のため河川や水路等が短時間に増水する等、急激な状況変化により大きな災害を引き起こすことがあります。

線状降水帯

線状降水帯とは次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される長さ50~300km程度、幅20~50km程度の線状に伸びる強い降水域を言います。ただし、線状降水帯は数十年前から研究の対象となっており、線状降水帯の定義は研究者により様々です。



竜巻

竜巻とは、積乱雲に伴って発生する強い空気の渦巻きのことです。日本で起きるほとんどの竜巻は、地上近くで風が回転しているところに、上昇気流が重なったときに発生すると考えられています。風が回転しながら上へあがるにつれて、回転の半径が小さくなり、風が強くなるので竜巻になるのです。上昇気流は、台風や積乱雲などといっしょに現れるので、竜巻の発生時期は夏が多くなっています。

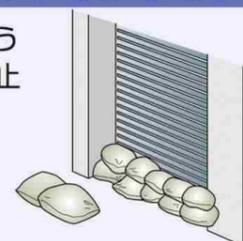
雪害

雪害には、地域住民だけでなく、冬山登山やスキー、観光などで豪雪地帯を訪れる多くの人々が被害に遭っています。雪害の代表的なものとしては、雪崩、除雪中の転落事故などの豪雪地帯特有の災害のほか、路面凍結などによる交通事故や歩行中の転倒事故など、豪雪地帯以外でも発生する災害もあります。積雪があった際は、近所の方々々と協力し自宅や周辺の道路などの除雪をお願いいたします。

浸水対策

土のうを準備しておきましょう

浸水に備え、日頃から土のうを準備しておき、浸水を防止しましょう。



止水シート

建物の玄関ドアや換気口を止水シートなどで塞ぎ、浸水を防止しましょう。



簡易水のうの作り方

45リットル程度の容量のごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れ中袋、外袋ともひもでしばります。(持ち運べる程度)。

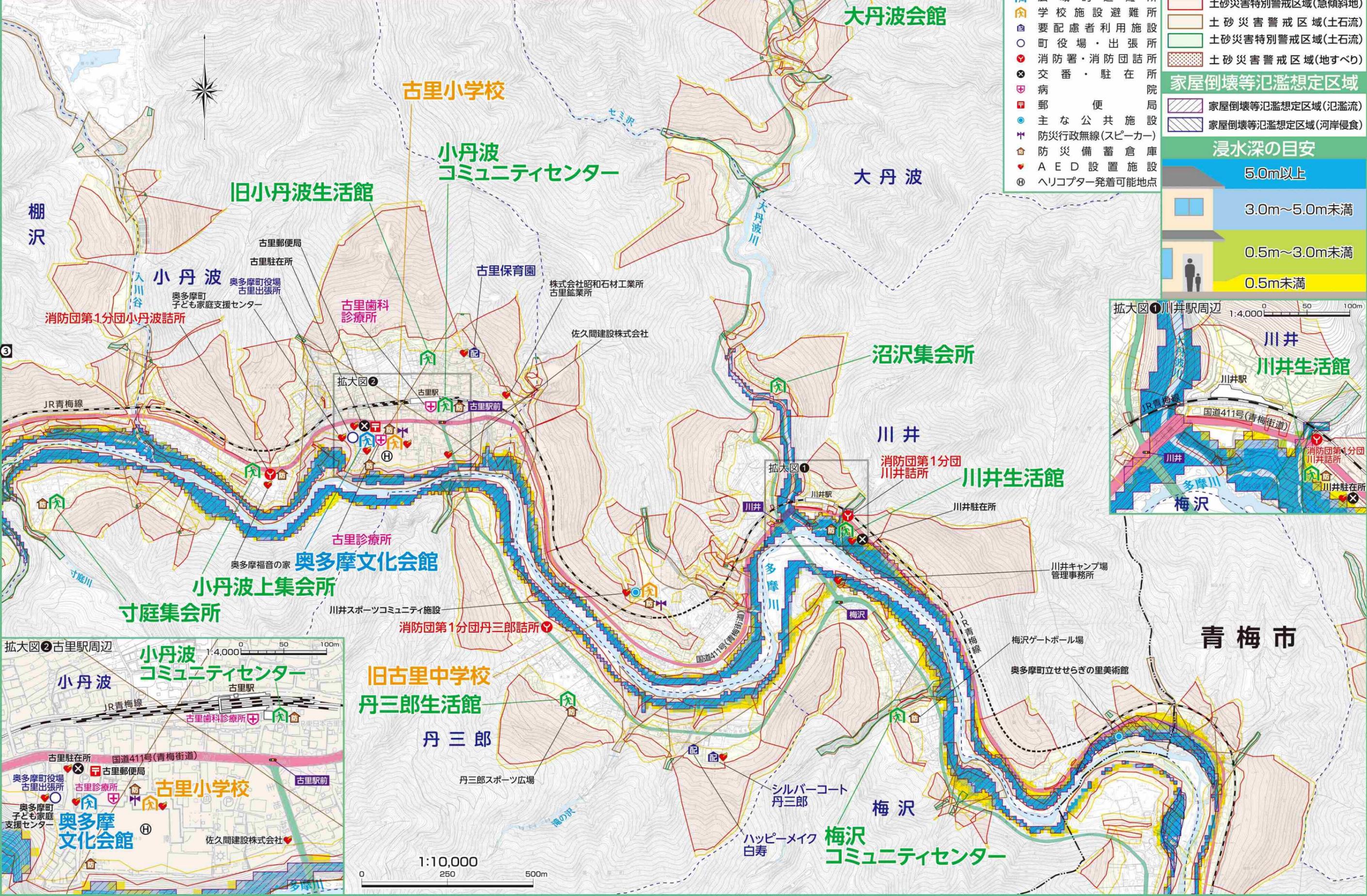


簡易水のうの利用



奥多摩町ハザードマップ ① 川井・大丹波・梅沢 丹三郎(棚沢)

| 凡例 | | 土砂災害警戒区域 | |
|----|---------------|--------------------|-------------------|
| | 地区避難所 | | 土砂災害警戒区域(急傾斜地) |
| | 広域的避難所 | | 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地) |
| | 学校施設避難所 | | 土砂災害警戒区域(土石流) |
| | 要配慮者利用施設 | | 土砂災害特別警戒区域(土石流) |
| | 町役場・出張所 | | 土砂災害警戒区域(地すべり) |
| | 消防署・消防団詰所 | 家屋倒壊等氾濫想定区域 | |
| | 交番・駐在所 | | 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) |
| | 病院 | | 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) |
| | 郵便局 | 浸水深の目安 | |
| | 主な公共施設 | | 5.0m以上 |
| | 防災行政無線(スピーカー) | | 3.0m~5.0m未満 |
| | 防災備蓄倉庫 | | 0.5m~3.0m未満 |
| | A E D 設置施設 | | 0.5m未満 |
| | ヘリコプター発着可能地点 | | |



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ② 大丹波 (川井・小丹波)

凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

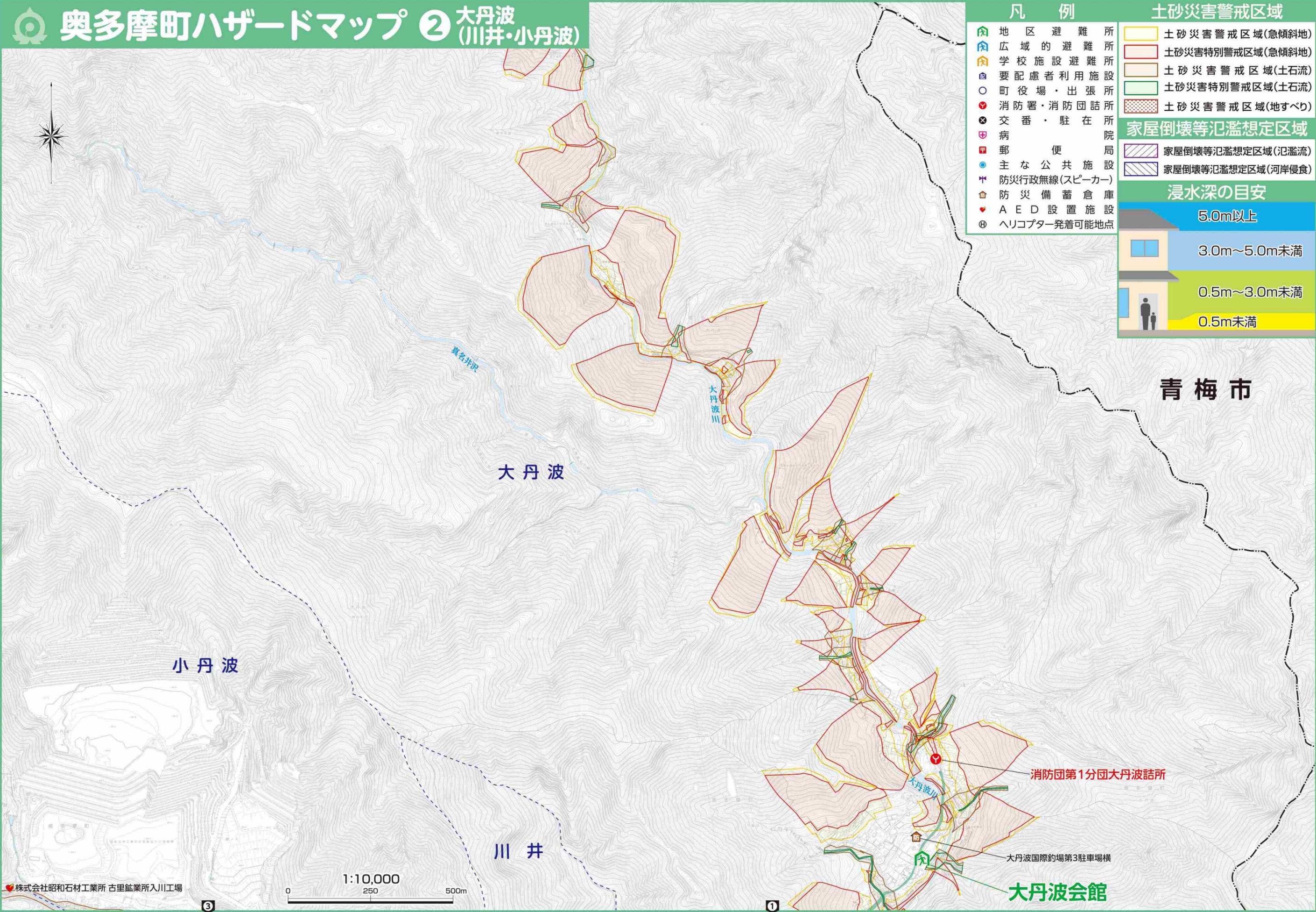
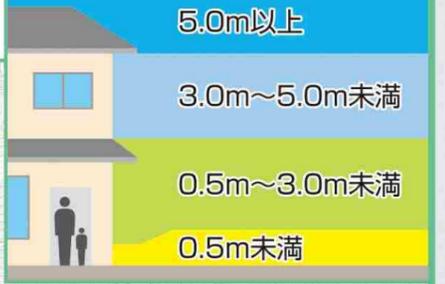
土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

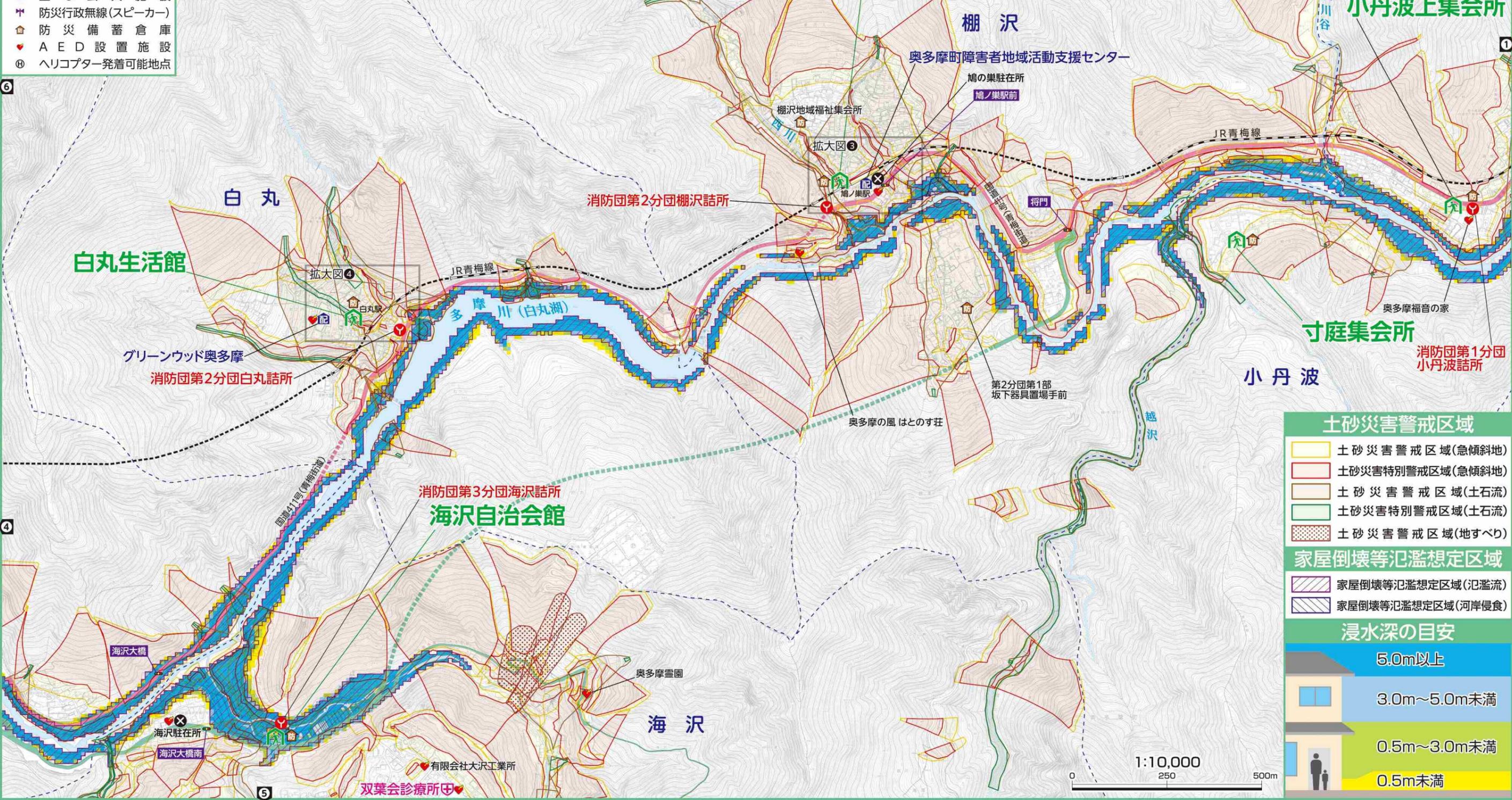
災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ③ 棚沢・白丸 (小丹波・氷川・海沢)

ハザードマップの活用方法
災害の知識
奥多摩町全域図
エリア別図
災害への備え

ハザードマップの活用方法
災害の知識
奥多摩町全域図
エリア別図
災害への備え

- ### 凡例
- 地区避難所
 - 広域的避難所
 - 学校施設避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 町役場・出張所
 - 消防署・消防団詰所
 - 交番・駐在所
 - 病院
 - 郵便局
 - 主な公共施設
 - 防災行政無線(スピーカー)
 - 防災備蓄倉庫
 - AED設置施設
 - ヘリコプター発着可能地点



土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

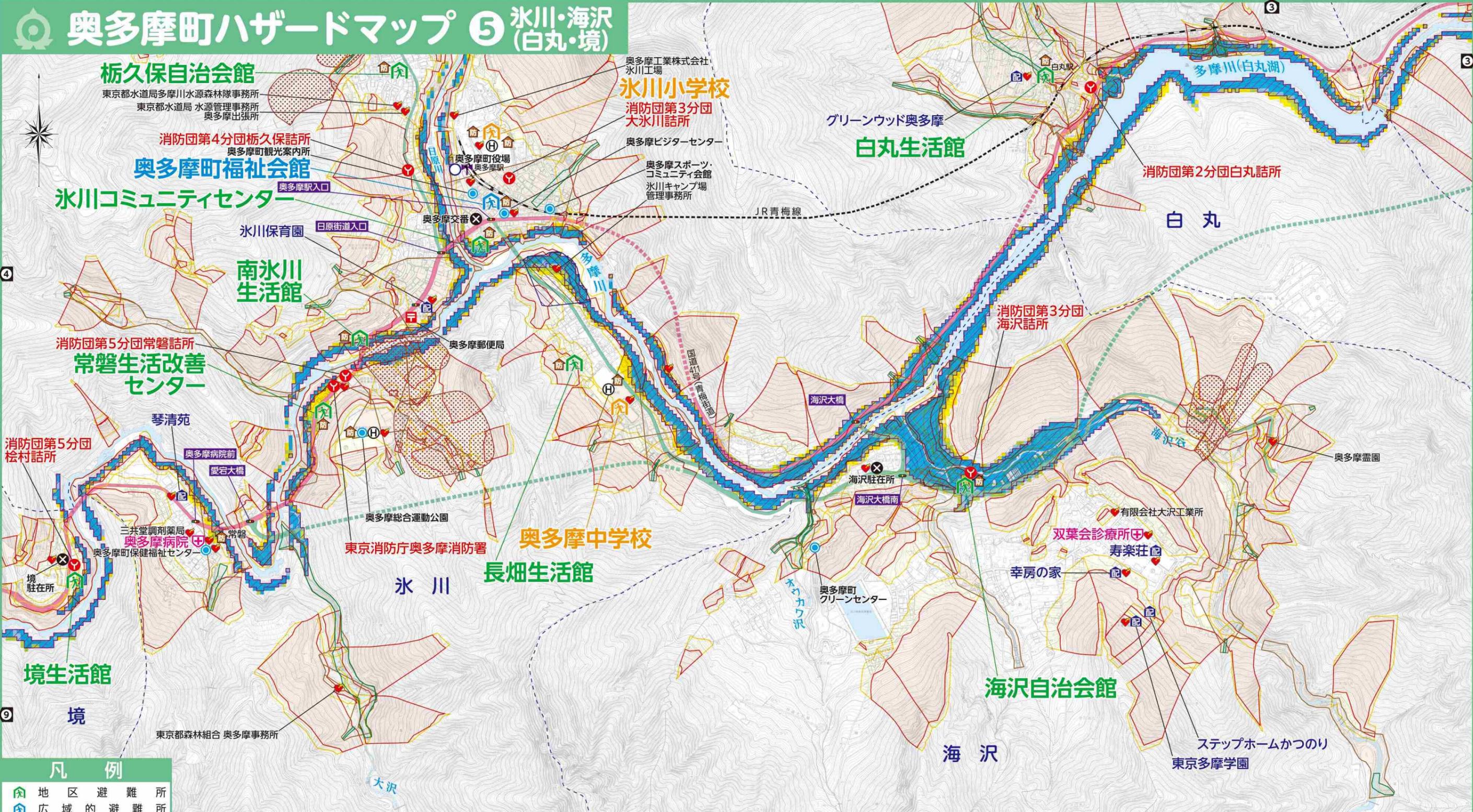
家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

奥多摩町ハザードマップ ⑤ 氷川・海沢 (白丸・境)



- ### 凡例
- 地区避難所
 - 広域的避難所
 - 学校施設避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 町役場・出張所
 - 消防署・消防団詰所
 - 交番・駐在所
 - 病院
 - 郵便局
 - 主な公共施設
 - 防災行政無線(スピーカー)
 - 防災備蓄倉庫
 - AED設置施設
 - ヘリコプター発着可能地点

浸水深の目安

| | |
|--|-------------|
| | 5.0m以上 |
| | 3.0m~5.0m未満 |
| | 0.5m~3.0m未満 |
| | 0.5m未満 |

土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

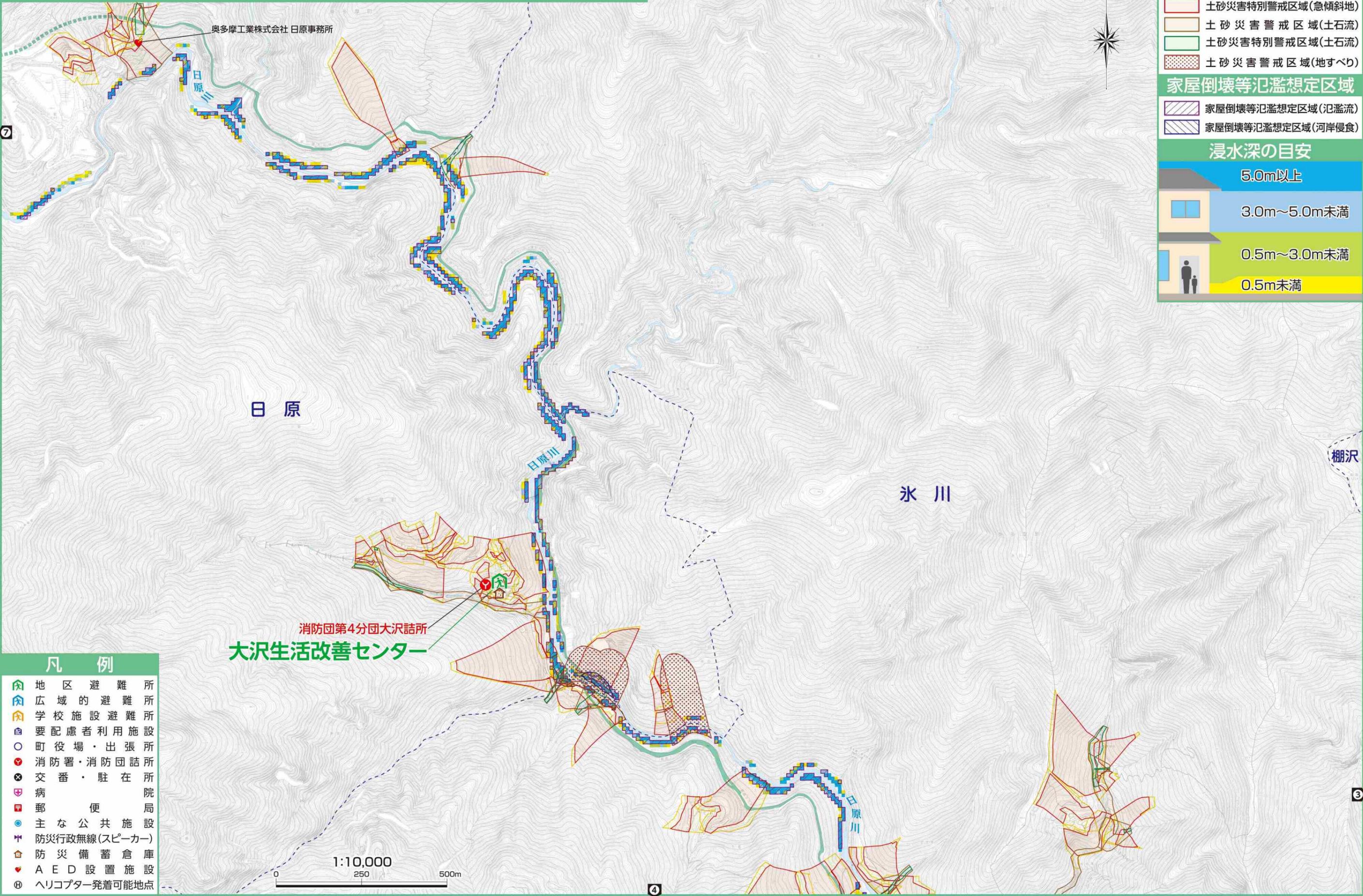
災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑥ 日原1(氷川)



土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安

| | |
|--|-------------|
| | 5.0m以上 |
| | 3.0m~5.0m未満 |
| | 0.5m~3.0m未満 |
| | 0.5m未満 |

凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

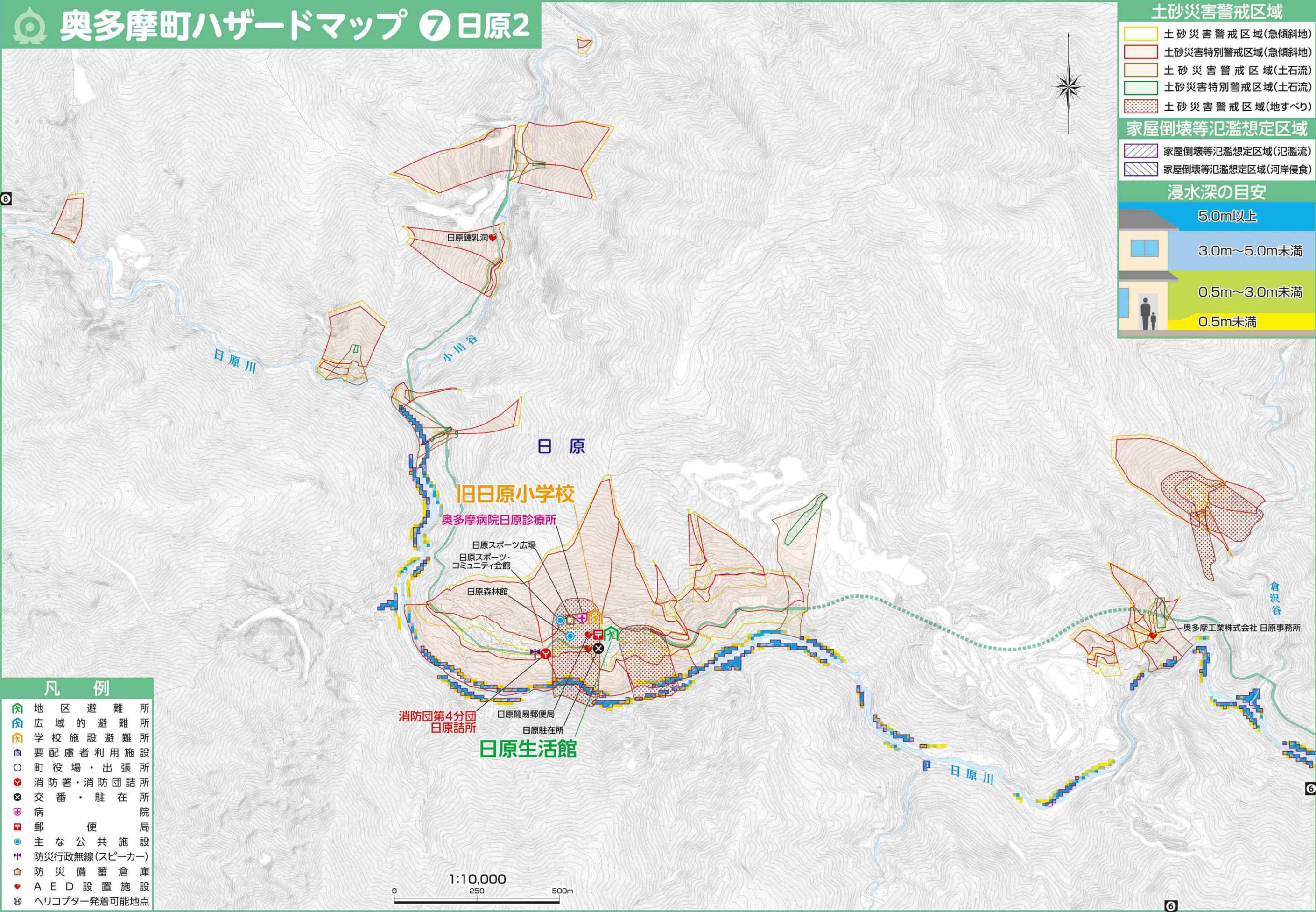
奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑦ 日原2

- ### 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害警戒区域(土石流)
 - 土砂災害特別警戒区域(土石流)
 - 土砂災害警戒区域(地すべり)
- ### 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)



- ### 凡例
- 地区避難所
 - 広域的避難所
 - 学校施設避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 町役場・出張所
 - 消防署・消防団詰所
 - 交番・駐在所
 - 病院
 - 郵便局
 - 主な公共施設
 - 防災行政無線(スピーカー)
 - 防災備蓄倉庫
 - AED設置施設
 - ヘリコプター発着可能地点



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

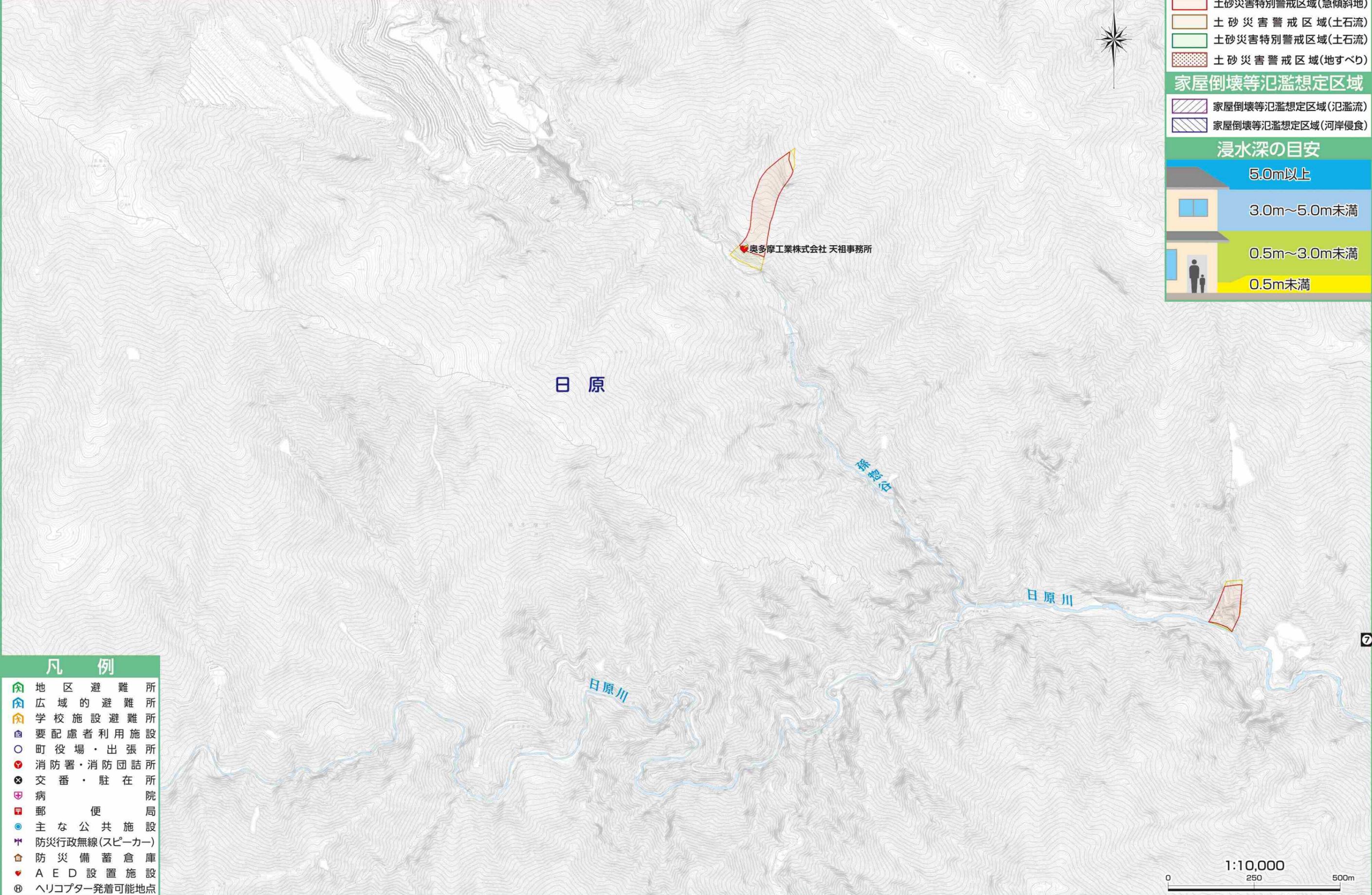
奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑧ 日原3

- ### 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害警戒区域(土石流)
 - 土砂災害特別警戒区域(土石流)
 - 土砂災害警戒区域(地すべり)
- ### 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)



- ### 凡例
- 地区避難所
 - 広域的避難所
 - 学校施設避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 町役場・出張所
 - 消防署・消防団詰所
 - 交番・駐在所
 - 病院
 - 郵便局
 - 主な公共施設
 - 防災行政無線(スピーカー)
 - 防災備蓄倉庫
 - AED設置施設
 - ヘリコプター発着可能地点



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ 境・原



- ### 土砂災害警戒区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
 - 土砂災害警戒区域(土石流)
 - 土砂災害特別警戒区域(土石流)
 - 土砂災害警戒区域(地すべり)
- ### 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

- ### 凡例
- 地区避難所
 - 広域的避難所
 - 学校施設避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 町役場・出張所
 - 消防署・消防団詰所
 - 交番・駐在所
 - 病院
 - 郵便局
 - 主な公共施設
 - 防災行政無線(スピーカー)
 - 防災備蓄倉庫
 - AED設置施設
 - ヘリコプター発着可能地点

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑩ 原(境・河内・留浦)

土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

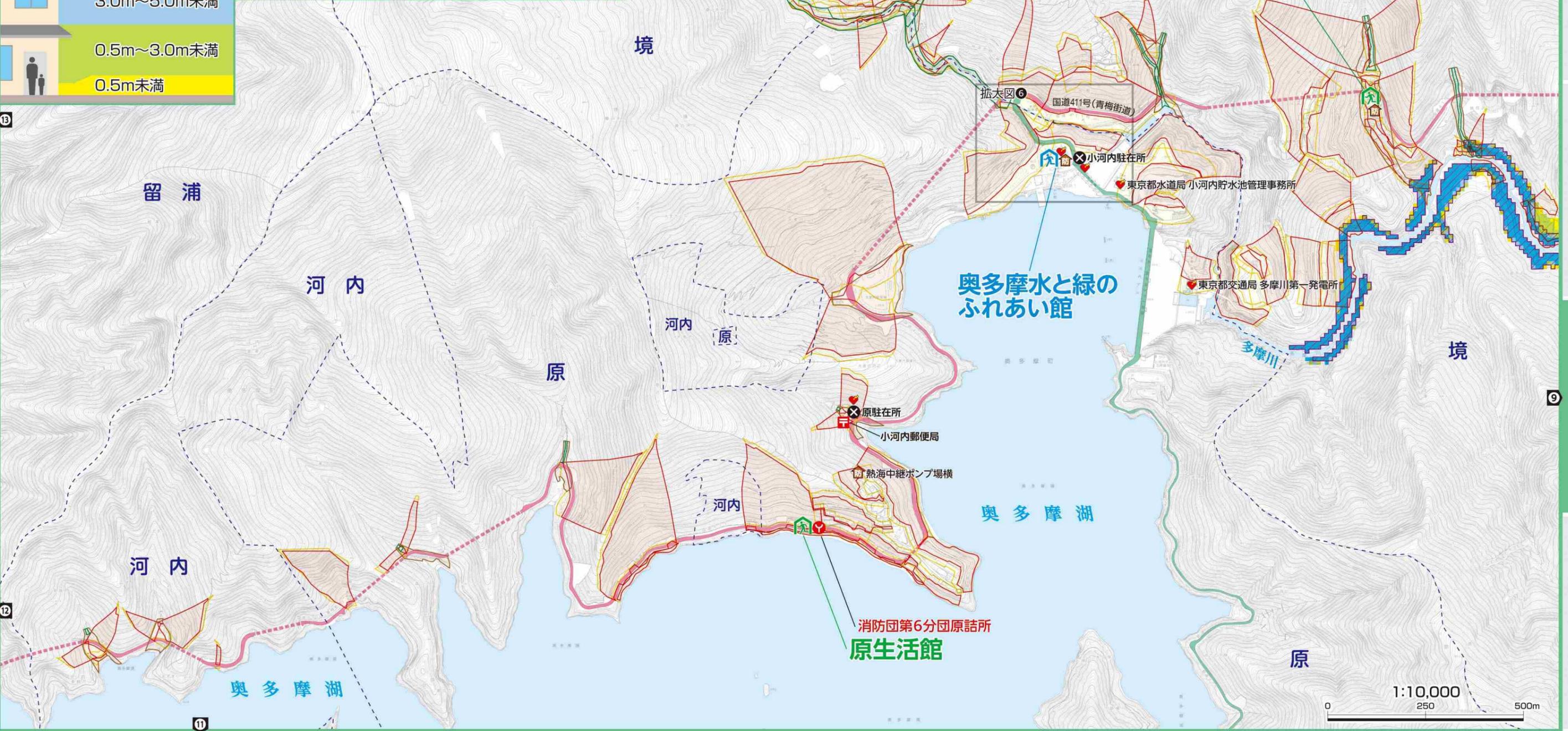
浸水深の目安

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満



凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

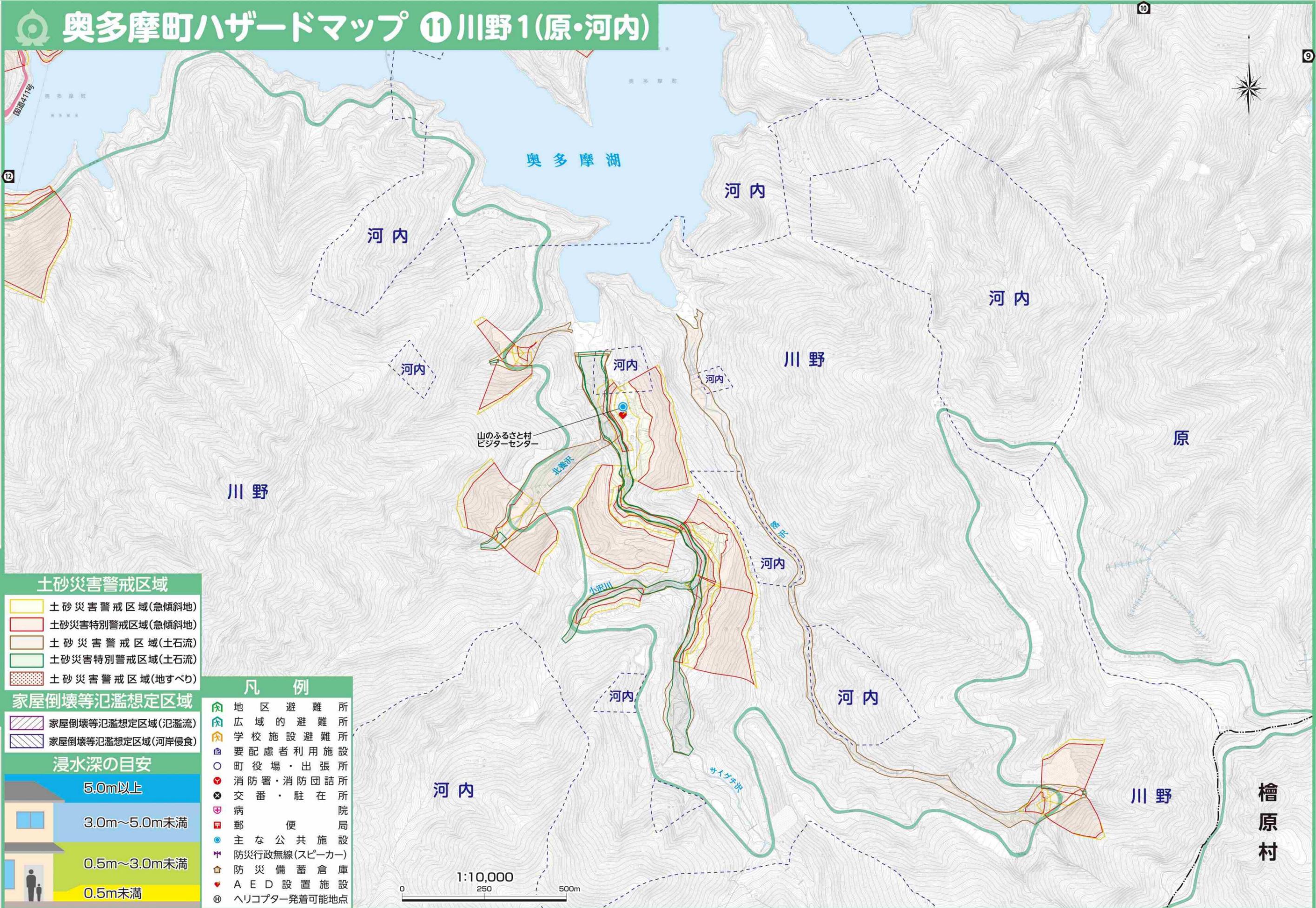
災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑩ 川野1(原・河内)



土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安

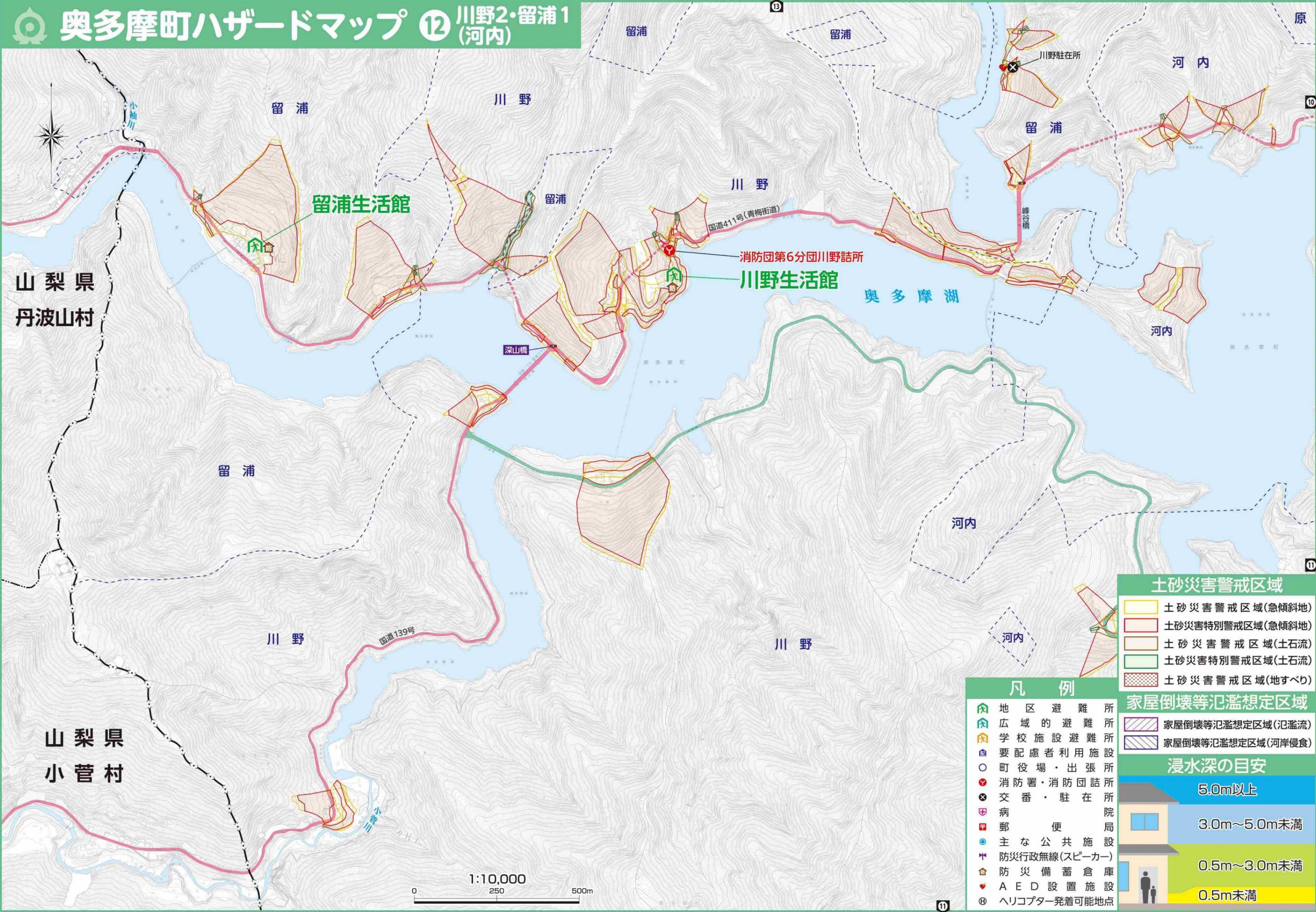
- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

1:10,000

0 250 500m



土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

奥多摩町ハザードマップ ⑬ 留浦2 (河内・川野)

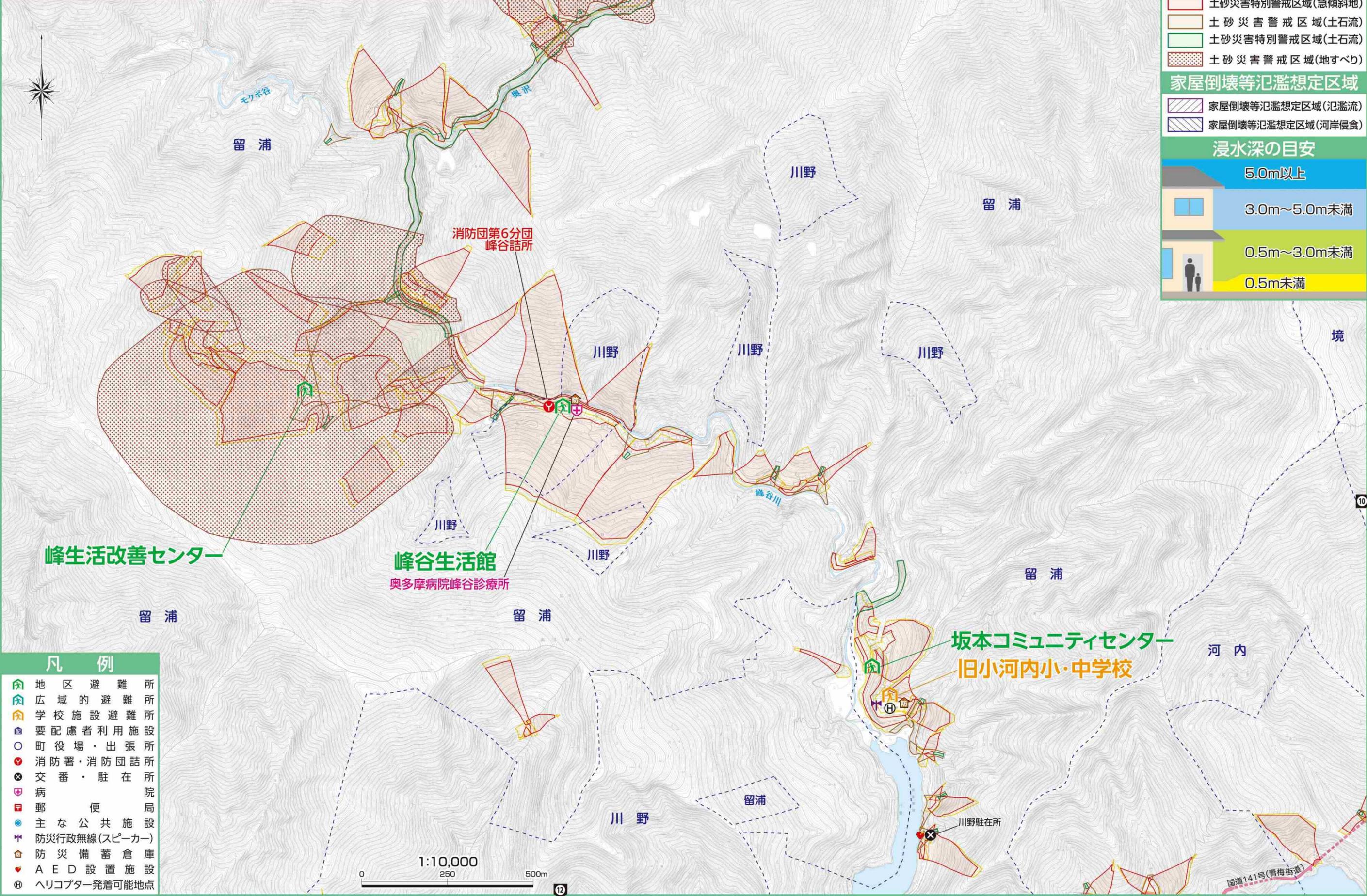
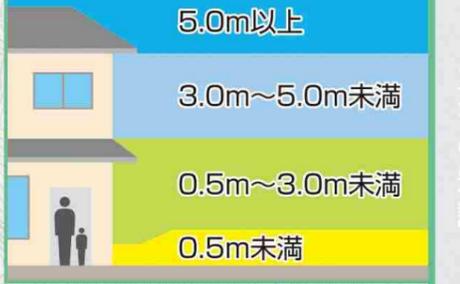
土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安



ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

ハザードマップの活用方法

災害の知識

奥多摩町全域図

エリア別図

災害への備え

凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

奥多摩町ハザードマップ ⑭ 留浦3

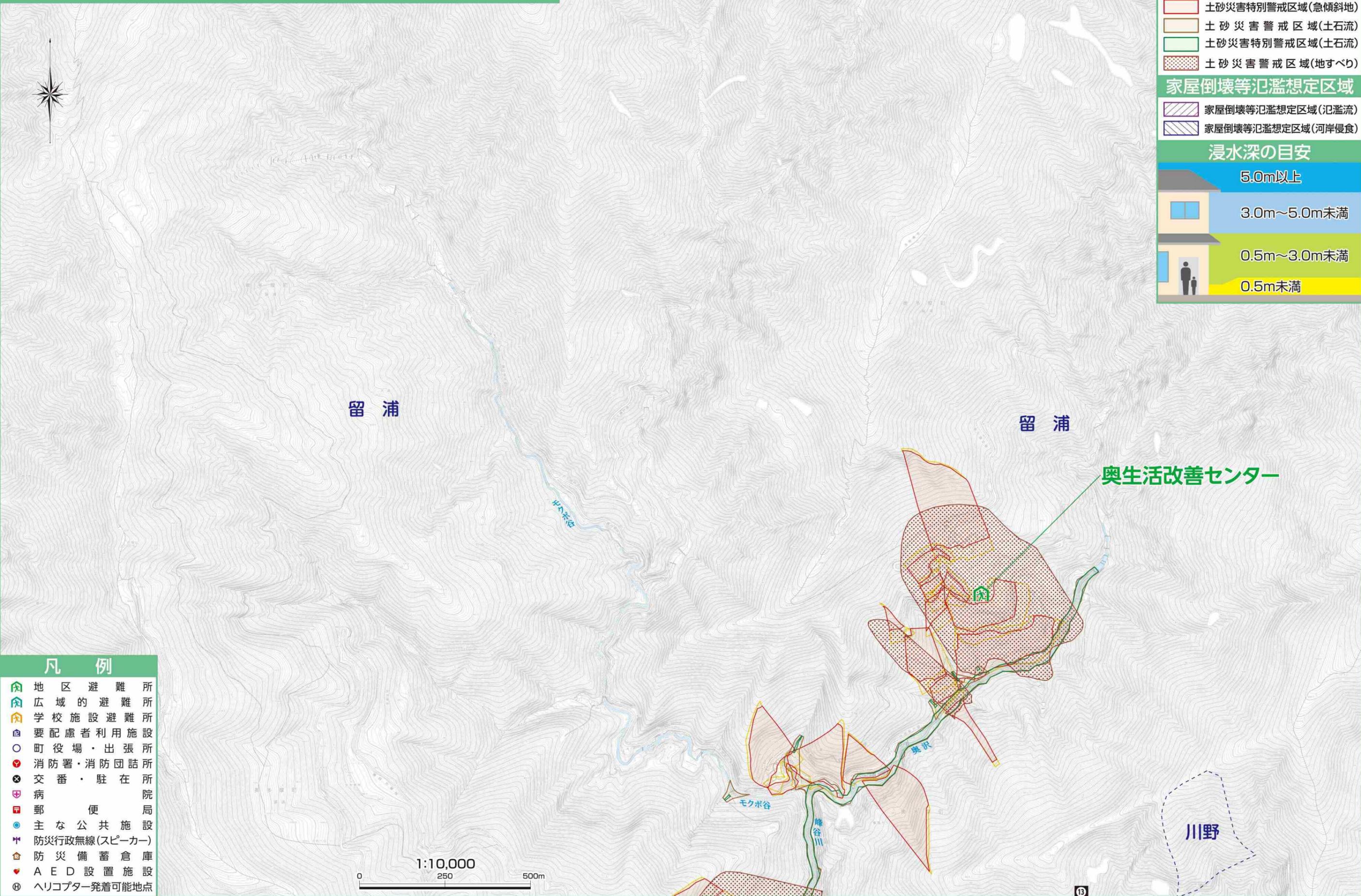
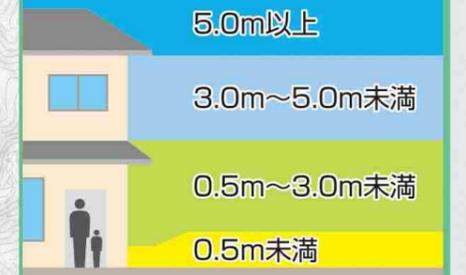
土砂災害警戒区域

- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

浸水深の目安



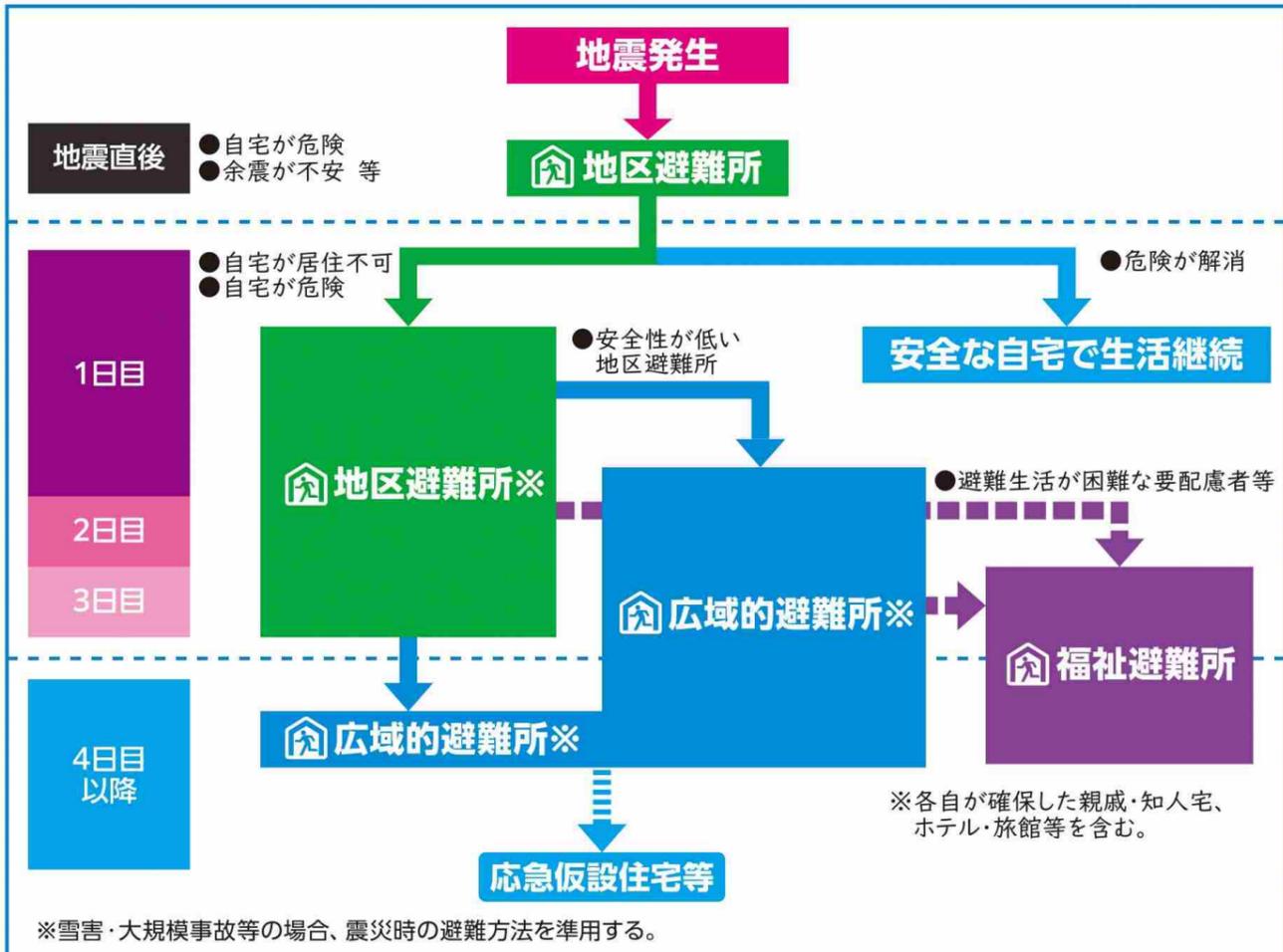
凡例

- 地区避難所
- 広域的避難所
- 学校施設避難所
- 要配慮者利用施設
- 町役場・出張所
- 消防署・消防団詰所
- 交番・駐在所
- 病院
- 郵便局
- 主な公共施設
- 防災行政無線(スピーカー)
- 防災備蓄倉庫
- AED設置施設
- ヘリコプター発着可能地点

1:10,000
0 250 500m

避難時の流れ 震災(雪害・大規模事故等を含む)の場合

- 避難先**
- 地震直後の避難先は、地区避難所とする。
 - 自宅での居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難をおこない、生活する。
 - ※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。



避難時の流れ 風水害の場合

- 避難先**
- 基本的に風雨が強まる前の事前避難(警戒レベル2・3)は、広域的避難所とする。
 - 風雨が強まり避難指示(警戒レベル4)を発令した場合は、居住する地区の地区避難所とする。
 - なお、自宅が被災し居住が不可能な場合は、広域的避難所の他、密を避けるため各自が確保した親戚・知人宅、ホテル・旅館等に分散避難を行い、生活する。
 - ※緊急的な避難者の受け入れにあたっては、避難した全ての者を受け入れる。



地震の震度と揺れの状況(震度4以上)

(気象庁資料より引用)

| | | |
|---|---|---|
| <p>4</p> <p>【震度4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 | <p>6弱</p> <p>【震度6弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 | <p>7</p> <p>【震度7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 |
| <p>5弱</p> <p>【震度5弱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 | <p>6強</p> <p>【震度6強】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 | <p>震度の決め方</p> <p>震度は、地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」という機器で観測しています。地震が発生すると、全国の震度計で観測された震度を自動的に収集し、気象庁では地震発生から約1分半後※に各地域の震度を速報でお知らせしています。</p> <p>※震度3以上の場合</p> |

警戒レベル(避難のタイミング)について

- 気象庁が発表する防災気象情報や自治体が発表する避難情報は、観測や予測の技術向上や甚大な災害の発生をきっかけに改正されることがあります。
- 下記リンク先を参照し、最新の防災気象情報や避難情報のご確認をお願いいたします。

| | |
|--|--|
| <p>内閣府</p> <p>避難情報の判断・伝達 https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/index.html</p> | |
| <p>気象庁</p> <p>知識・解説 https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuknowledge.html</p> | |
| <p>奥多摩町</p> <p>防災 https://www.town.okutama.tokyo.jp/gyosei/2/anshin_anzen/bosai/index.html</p> | |

災害情報の収集

災害情報を自ら入手する

奥多摩町防災 X (旧twitter)

https://x.com/oku_bousai
奥多摩町では、防災のための公式 X (旧twitter) アカウントを運営しています。奥多摩町の災害に関する情報、防災情報などを発信しています。



NTT災害用伝言ダイヤル

web版はここから

災害の発生により、電話がつながりにくい状況になった場合に提供開始される声の伝言板です。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。公衆電話、携帯電話からも利用できます。



気象庁

<https://www.jma.go.jp>
気象、地震・津波、火山、海洋等の防災をはじめとした気象情報等を掲載し、国民の防災行動等のための情報が提供されている。



東京都水防災総合情報システム

<https://www.kasen-suibou.metro.tokyo.lg.jp/>
東京都で観測している降雨量、河川水位情報や注意報・警報・特別警報などをリアルタイムに提供しています。



キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
キキクルは、気象庁が提供する大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。



東京アメッシュ

<https://tokyo-ame.jwa.or.jp/>
東京都下水道局が提供する、東京を中心とした広範囲の降雨情報をリアルタイムで確認できるサービスです。



ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>
国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトは身のまわりの災害リスクや避難場所の確認が地図上で簡単にできます。



東京都防災アプリ

いつも・いざというときにも役に立つ、東京都公式の防災アプリです。防災ブック「東京くらし防災」「東京防災」をはじめ、災害への備えや災害時に役立つ多くのコンテンツを利用できます。

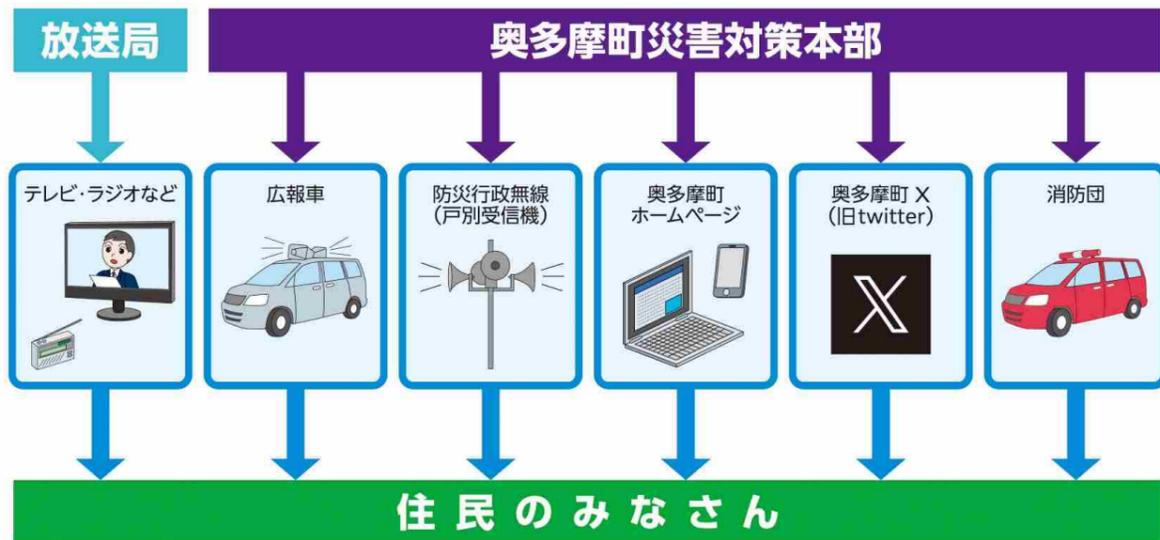


Android

iOS

奥多摩町からの情報伝達体制

- 町からの防災行政無線放送の内容や消防団員等の指示にしたがって行動してください。
- 台風時などは、広報車の放送が聞こえない場合があります。情報は、ラジオ・携帯電話などで確認してください。



避難所一覧

令和7年4月1日現在

| 自治会名 | 施設名 | 所在地 | 開設可能な災害 ※1 | | | | 敷地面積 | 収容人員 ※2 |
|-------|---------------|----------|------------|-----|----|--------|--------|---------|
| | | | 震災 | 風水害 | 雪害 | 大規模事故等 | | |
| 川井 | 川井生活館 | 川井156-4 | ○ | ○ | ○ | ○ | 95㎡ | 48人 |
| | 沼沢集会所 | 川井290-24 | ○ | ○ | ○ | ○ | 51㎡ | 26人 |
| 大丹波 | 大丹波会館 | 大丹波122 | △ | ○ | ○ | ○ | 132㎡ | 66人 |
| 梅沢 | 梅沢コミュニティセンター | 梅沢106-口 | ○ | ○ | ○ | ○ | 98㎡ | 49人 |
| 丹三郎 | 丹三郎生活館 | 丹三郎180 | △ | ○ | ○ | ○ | 119㎡ | 60人 |
| 小丹波 | 小丹波コミュニティセンター | 小丹波501 | ○ | ○ | ○ | ○ | 145㎡ | 73人 |
| | 旧小丹波生活館 | 小丹波472-2 | △ | ○ | ○ | ○ | 152㎡ | 76人 |
| | 小丹波上集会所 | 小丹波279-6 | ○ | ○ | ○ | ○ | 72㎡ | 36人 |
| | 寸庭集会所 | 小丹波911 | ○ | ○ | ○ | ○ | 55㎡ | 28人 |
| 棚沢 | 棚沢コミュニティセンター | 棚沢409 | ○ | ○ | ○ | ○ | 110㎡ | 55人 |
| 白丸 | 白丸生活館 | 白丸72-6 | ○ | ○ | ○ | ○ | 96㎡ | 48人 |
| 大氷川 | 氷川コミュニティセンター | 氷川178-1 | × | × | ○ | ○ | 417㎡ | 209人 |
| 常磐 | 常磐生活改善センター | 氷川954-1 | △ | ○ | ○ | ○ | 114㎡ | 57人 |
| 長畑 | 長畑生活館 | 氷川737 | × | × | × | ○ | 109㎡ | 55人 |
| 南氷川 | 南氷川生活館 | 氷川1371 | × | × | × | ○ | 135㎡ | 68人 |
| 栃久保 | 栃久保自治会館 | 氷川1806-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 114㎡ | 57人 |
| 大沢 | 大沢生活改善センター | 日原198-口 | △ | ○ | ○ | ○ | 96㎡ | 48人 |
| 日原 | 日原生活館 | 日原760 | ○ | ○ | ○ | ○ | 225㎡ | 113人 |
| 海沢 | 海沢自治会館 | 海沢779 | △ | ○ | ○ | ○ | 148㎡ | 74人 |
| 境 | 境生活館 | 境11-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 106㎡ | 53人 |
| | 境集会所 | 境353 | ○ | ○ | ○ | ○ | 99㎡ | 50人 |
| 中山 | 中山生活館 | 境871-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 118㎡ | 59人 |
| | 原生活館 | 原268-2 | × | × | × | ○ | 168㎡ | 84人 |
| 小河内 | 坂本コミュニティセンター | 留浦1252 | ○ | ○ | ○ | ○ | 59㎡ | 30人 |
| | 川野生活館 | 川野261-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 187㎡ | 94人 |
| | 留浦生活館 | 留浦619-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 114㎡ | 57人 |
| | 峰谷生活館 | 川野529-1 | ○ | ○ | ○ | ○ | 152㎡ | 76人 |
| | 峰生活改善センター | 留浦891 | △ | ○ | ○ | ○ | 77㎡ | 39人 |
| | 奥生活改善センター | 留浦1977-8 | ○ | ○ | ○ | ○ | 49㎡ | 25人 |
| 18自治会 | 29か所 | | | | | 3,612㎡ | 1,813人 | |

※1 「開設可能な災害」欄の「○」は開設可能、「×」は開設不可、「△」は旧耐震(昭和56年以前建築)の木造建物であるため地震発生時の状況によっては開設不可となる。開設不可となった場合は、原則として最も近い広域的避難所を代替避難所とする。
※2 収容人員は、2㎡/人で計算しているが、避難が2日以上となる場合や感染症発生下において実際の収容人員が少なくなる場合がある。

広域的避難所

| 地区名 | 施設名 | 所在地 | 開設可能な災害 | | | | 敷地面積 | 収容人員 ※3 |
|-----|-----------------|---------|---------|-----|----|--------|--------|---------|
| | | | 震災 | 風水害 | 雪害 | 大規模事故等 | | |
| 古里 | 奥多摩文化会館 | 小丹波82 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1,920㎡ | 320人 |
| 氷川 | 奥多摩福祉会館 | 氷川199-口 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1,682㎡ | 280人 |
| 小河内 | 奥多摩水と緑のふれあい館 ※4 | 原5 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1,830㎡ | 305人 |
| | 3か所 | | | | | | 5,432㎡ | 905人 |

※3 収容人員は、6㎡/人で計算しているが、感染症発生下においては実際の収容人員が少なくなる場合がある。
※4 水と緑のふれあい館に避難所を開設する場合、原則として3Dシアター室のみを避難スペース使用することとする。ただし、災害時に3Dシアター室のみでは避難者を収容しきれない場合は施設内のその他のスペースも使用可能としているため、施設面積及び収容人員欄には施設全体の数値を記載している。

学校施設避難所

| 地区名 | 施設名 | 所在地 | 開設可能な災害 ※5 | | | | 施設面積 ※6 | 収容人員 ※7 |
|-----|-----------|---------|------------|-----|----|--------|---------|---------|
| | | | 震災 | 風水害 | 雪害 | 大規模事故等 | | |
| 古里 | 旧古里中学校 | 川井594 | ○ | ○ | ○ | ○ | 3,424㎡ | 571人 |
| | 古里小学校 | 小丹波75 | ○ | ○ | ○ | ○ | 4,006㎡ | 668人 |
| 氷川 | 氷川小学校 | 氷川1278 | ○ | ○ | ○ | ○ | 4,254㎡ | 709人 |
| | 奥多摩中学校 | 氷川760 | ○ | ○ | ○ | ○ | 3,101㎡ | 517人 |
| 日原 | 旧日原小学校 | 日原768-口 | ○ | ○ | ○ | ○ | 1,384㎡ | 231人 |
| 小河内 | 旧小河内小・中学校 | 留浦1237 | ○ | ○ | ○ | ○ | 3,246㎡ | 542人 |
| | 6か所 | | | | | | 19,415㎡ | 3,238人 |

※5 学校施設避難所については、地区避難所及び広域的避難所を補完する予備的な避難所と位置づけているため、災害発生時に必ず開設するものではない。
※6 施設面積は、各施設の校舎及び体育館の面積を合算している。
※7 収容人員は、6㎡/人で計算しているが、感染症発生下においては実際の収容人員が少なくなる場合がある。

防災備蓄(日頃からの備え)・自助・共助・公助

防災備蓄品リスト(自宅避難の備え)

準備が出来たらチェックを入れよう!

- 災害により断水や停電になることを想定し、自宅避難時の備えをしておきましょう。
- 防災備蓄品は最低3日分、できれば7日分が目安です。

食料品

- 飲料水(1人1日3リットル目安)
- 食べ物(アルファ化米、缶詰、カップ麺など)
- 調理しないで食べられるもの(栄養補助食品、チーズなど)
- 調味料(しょうゆ、塩など)
- 菓子類(ビスケット、チョコレートなど)



日用品

- 生活用水
- 救急箱
- 携帯トイレ、簡易トイレ、トイレトーパー
- 懐中電灯、ろうそく、ランタン
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 使い捨て食器(コップ、皿、はし等)
- ラップ、アルミホイル



- ブザーやホイッスル
- 携帯ラジオ
- 電池、電源、モバイルバッテリー
- 手袋、軍手
- タオル、ハンカチ
- 着替え
- テント、寝袋など
- 持病の薬



衛生用品

- ウェットティッシュ(除菌)
- マスク
- アルコール消毒液
- 体温計
- セッケン、ドライシャンプー



- ハミガキセット
- 生理用品
- 介護用品
- 紙おむつ
- ミルク、哺乳瓶
- 離乳食



自助・共助・公助

災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」が不可欠です。3つの連携が円滑なほど、災害の被害は軽減できます。

- 自助** 一人ひとりが自ら取り組むこと
- 共助** 地域や身近にいる人どうしが一緒に取り組むこと
- 公助** 国や地方公共団体などが取り組むこと



非常持ち出し品、ローリングストック等

非常持ち出し品リスト

準備が出来たらチェックを入れよう!

- 奥多摩町でも最低限の備蓄は準備していますが、いざという時にすぐに持ち出せるように、非常持ち出し品を準備・確認しておきましょう。

避難バッグ

- 飲料水(1人1日3リットル目安)
- 非常食(缶詰、栄養補助食品など)
- 懐中電灯、ろうそく、ランタン
- 携帯ラジオ
- 電池、モバイルバッテリー
- 雨具、レインコート
- 手袋、軍手



- ハザードマップ、町の地図
- ヘルメット、運動靴
- 携帯トイレ
- 着替え、防寒具
- タオル・ハンカチ
- レジャーシート
- 使い捨てカイロ
- 持病の薬



衛生用品

- ウェットティッシュ(除菌)
- マスク
- アルコール消毒液
- 体温計
- セッケン、ドライシャンプー
- ハミガキセット
- 生理用品
- 介護用品
- 紙おむつ
- ミルク、哺乳瓶
- 離乳食

あと役立つ

- ブザーやホイッスル
- 工具
- 折りたたみ椅子
- 筆記用具
- 補聴器
- アレルギー対応食
- ゴミ袋
- 除菌スプレー
- マッチ・ライター
- ガムテープ
- テント、寝袋など
- 使い捨て食器(コップ、皿、はし等)
- ラップ、アルミホイル



貴重品

- 現金、通帳、印鑑、キャッシュカード
- マイナンバーカード
- 免許証、保険証
- 障がい者手帳、受給者証
- メガネ、コンタクト、補聴器
- 写真など思い出の品



ローリングストック

普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充して、常に一定量の食品・日用品を備蓄しておくことを日常備蓄(ローリングストック)と言います。消費と買い足しを行うことで、新しいものを常に一定量備蓄することができます。



ローリングストックのポイント

- ふだん食べている食材や使用している日用品を多めに買って、蓄える
- 古いものから使う
- ふだんの食事で食べる
- 消費した分はすぐ補充する
- カセットコンロとガスボンベも備えておきましょう

わが家の防災メモ

| | | |
|--------------|---|--|
| 災害時に家族が集まる場所 | ① | |
| | ② | |
| | ③ | |

| 連絡先 | 名前 | 生年月日 | 血液型 | 住所・会社・学校の名称等 | 電話番号 | |
|-----|----|------|-----|--------------|------|--|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

消防：火災・救急通報 119

警察：緊急通報 110

防災行政無線放送を聞き取れなかったとき
放送が聞き取れなかったときなど、
放送の内容を再度確認したい場合は、
次の電話で放送内容を聞くことができます。
0428-83-2233

| ライフライン関係 | 電話番号 | 備考 |
|-------------------------|--------------|-------------------------|
| 電気 東京電力パワーグリッド(株) | 0120-995-007 | |
| 電話 NTT東日本 | 113 | 携帯電話から0120-444-113 |
| ガス | | ※各契約事業者の連絡先 |
| 水道 東京都水道局お客さまセンター | 0570-091-100 | ※水道メーターから蛇口まで(宅内)は水道工事店 |
| 下水道・浄化槽 奥多摩町環境整備課下水道業務係 | 0428-83-2367 | ※公共マスから排水口まで(宅内)は下水道工事店 |

| 役場 | 電話番号 | 備考 |
|------------|---------------------------|----|
| 奥多摩町役場(代表) | 0428-83-2111 | |
| 奥多摩町役場総務課 | 0428-83-2349/0428-83-2345 | |

災害用伝言ダイヤル 171

災害時は被災地への電話がつながりにくくなります。
もしもの時に備え、利用方法をご確認ください。

171にダイヤル

音声ガイダンス

録音は1

再生は2

音声ガイダンス

被災地の相手方の固定電話・携帯電話・IP電話の
番号をダイヤル(固定電話は市外局番から)

0

音声ガイダンス

ガイダンスに従い、録音(再生)

web 171 災害用伝言板

インターネットを利用して被災地の方の安否情報
を確認する『web伝言板』です。

<https://www.web171.jp>



にアクセス
または『web171』と検索

伝言を登録する
被災地の方などの **電話番号を入力**

インターネットへ接続できるパソコンまたは、
携帯電話、スマートフォンでもご利用になれます。

説明に従い、登録/確認